

アンケート集計報告！！

アンケートの詳細と結果はウェブで！
<http://www.city.kashiwa.chiba.jp/oshiras/jyohou/sien/koeki/17-039-2.htm>

考える会では、支援センターに対する要望等について、より多くの市民の方々の声をお聞きするために、アンケートを実施しました。主に柏市内で活動をする市民公益活動団体を対象とし、「事務所で困っていること」「支援センターに必要なと思う機能」「センターの場所」「センターに必要な備品」「登録制か否か」などを尋ね、配布数184に対して、99の団体から回答を

頂きました。ご協力どうもありがとうございました。ハード面では、自由で便利な活動拠点としての支援センター、ソフト面では「交流」や「広報」「活動・助成金の情報」などに意見が多く寄せられたようです。皆さまから頂いた貴重なご意見を充分に活用して、引き続き検討を進めて行きたいと思えます！

ここでは、いくつかのご意見を紹介します。

1 支援センターに必要な機能 TOP10

NO1 他団体との交流や情報交換の機会の提供	52
2. 資料作成・印刷等の作業場	40
3. 活動に関する新しい情報の提供	33
4. 会議室等の貸出	29
4. 団体の会員募集等、PR情報の提供	29
6. 備品、用具、機材の保管場所	28
7. 各種助成金等の情報提供	27
8. 団体スタッフ等の研修・学習の機会の提供	24
9. 市や企業との橋渡しの支援	21
9. 市民の市民活動への意識啓発	21
9. 団体間の連携・調整・ネットワークの構築	21
(23の選択肢から特に必要と思うものを5つ選択)	

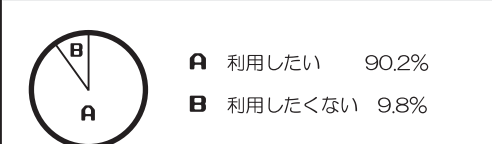
2 「支援センター」をどんな目的で使いたい？

NO1 団体が自由に利用できる拠点、スペース	62
2. 情報発信、収集の拠点	42
2. 他の団体との横の連携	42
4. その他（資機材の保管・電話・郵便等の送付先・経理/税務の相談）	3
(上記4つの選択肢から選択。複数回答可)	

3 どんな場所だと便利？ (%)

NO1 駐車場が確保できること	49.1
2. 駅近であること	32.1
3. 市役所至近であること	13.4
4. 面積を大きく確保（500㎡以上）	2.7
5. その他（沼南地区に・場所は知らない・駅と市役所の近く）	2.7

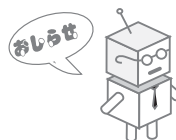
4 「支援センター」を利用したい？



5 その他の要望など

- ・バリアフリーで整備して欲しい
- ・悪徳商法などに利用されないように
- ・テーブルと机は綺麗で、軽くて移動させやすいものを
- ・コーディネーターなどの係員は常駐させて欲しい
- ・団体の規模、新旧に関らず公平に利用させて欲しい
- ・子どもがNPOやボランティアが、何なのか分かるような場所を目指して欲しい

（仮称）NPO等ガイドブックの掲載団体を募集します！



市では、福祉、環境、教育など幅広い分野における市民公益活動を促進することを目的として、実際に活動を行っているNPO等の団体について広く一般に周知し、より一層の推進と活性化を図るため、「（仮称）NPO等ガイドブック」を作成します。つきましては、この「（仮称）NPO等ガイドブック」への掲載団体について募集しますので御協力をお願いします。

なお、具体的な掲載方法については、広報かしわ8月1日号または、かしわシティネット（柏市の公式ホームページ：<http://www.city.kashiwa.chiba.jp>）をご覧ください。

市民公益活動支援センターを考える会 ニュースレター Vol.2

発行日：2005年7月22日

<http://www.city.kashiwa.chiba.jp/oshirase/jyohou/sien/koeki/17-039.htm>

■発行：柏市 市民生活部市民活動推進課
 〒277-8505 千葉県柏市柏5-10-1

TEL：04-7167-1126 FAX：04-7167-8103

■制作：特定非営利活動法人 NPO支援センターちば
 〒277-0005 千葉県柏市柏2-5-9岡田屋ビル5F

TEL：04-7168-8600 FAX：04-7168-8611

★ NEWS LETTER Vol.2 ★

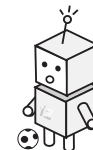
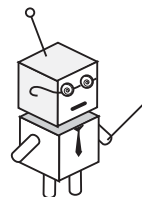


市民公益活動支援センターを考える会



もくじ

- 特集 視察に行ってきました！ [P.1]
- 第三回・第四回の会議報告 [P.2]
- ⇒「熱い」議論の交通整備！ [P.3]
- ⇒機能&事業内容☆検討中！ [P.4]
- アンケート集計結果報告 [P.4]
- お知らせ（仮称）NPOガイドブック掲載団体の募集 [P.4]



特集 視察に行ってきました！ 第②回会議報告

北区ボランティア・NPOぷらざと浦安市市民活動センターを訪ね、支援センターの設置を考える上でのポイントについてお尋ねしました。それぞれ小原宗一さん（北区）と鶴見仲寛さん（浦安市）に、準備会・運営体制・センターの機能など幅広い観点から注意すべき点をお話いただきました。



ここに注目！！

センター機能と設備

- ・機能を謳うだけでなく、事業を実際にきちんと行い、事業計画をたてるスキルを身につけること
- ・会議室のニーズは高いので、ないと大変不便
- ・A1 拡大機など、なかなか単体では所有できない機材のニーズは高い
- ・社協ボランティアセンターと統合するなら、最低限ボランティアセンターが現在行っている事業を維持すること

財政面

- ・先行きが不安な委託金だけに頼らず、自主事業をつくらなければならない
- ・業務提携の際に、まだまだ“NPO価格”で見られがちなところを質の向上とともに打破していくことが必要

内部の人材育成

- ・個人の得意分野を活かし、モチベーションを高める
- ・夢のあるシステムを考えないと、人材は集まらない

運営体制

- ・誰が予算や事業などの決定権を持ち、どこに責任の所在があるのかははっきりと決めておくこと
- ・各組織との役割分担をはっきりする（社協ボランティアセンター、民設民営のサポートセンター、市役所、県レベルの支援センターなど）
- ・継続性の確立（年度ごとに対応が変わらないようにする、スキルの伝達をする）

その他

- ・現状では、NPO支援の仕事はボランティア関連の仕事内容に比べてかなり少ない
- ・支援センターが、家賃・人件費などのコストに見合うだけの価値があるのかどうか十分に考えること
- ・長期的プランを持つこと



北区ボランティアセンターにて



浦安市市民活動センターにて

ここで話頂いたアドバイスを活かし、
 ①どんな事業内容・サービスで？ ②誰が？どんな風に？
 ③どんな資源で？ ④こういったコストがかかって、どうまかなうのか
 について各機能・事業内容ごとに考えていき、全体としてこういった“しくみ”で運営していくかについて、また、**柏の支援センターらしい特徴**とは何かを考えながら議論を進めて行きたいと思えます。



第〇回会議報告

ちょっと待った！

“熱い議論”の交通整備！

「それは機能の話！？」

「そっちは運営の仕方の話！？」

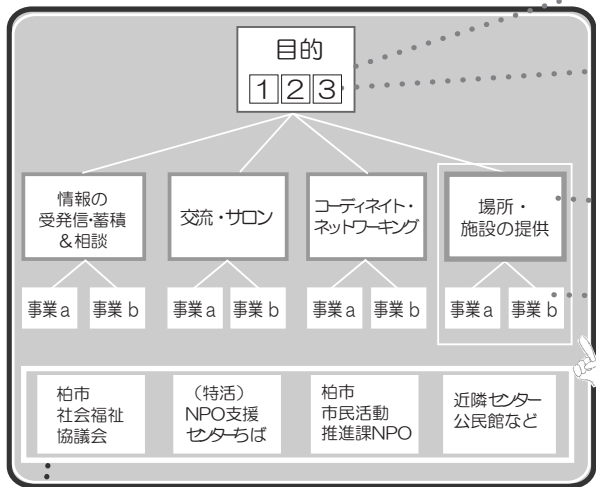
「あれ？私たちがまた同じ話してるよね・・・！？」

よい支援センターをつくるためには、たくさんの「熱い想い」とたくさんの議論が必要です！
私たち「考える会」でも、毎回毎回熱い議論をしています。でも、熱い想いは時に、道に迷ってしまうことがあります。

そこで

今後の議論を建設的に積み上げていくために、次の**2つ**を整理しました！
（※NEWSLETTER VOL.1でお知らせした「スケジュール」では、ハード面の検討に入る予定でしたが予定を変更しました）

1 それぞれの意見が、何についてのアイディアや提案なのかを確認するための表をつくり、随時照らし合わせていく事としました。



■ 支援センター設置の目的

「市民公益活動の促進のために、必要なサービスを提供する」

■ キーポイント

- 1 「裾野の拡大（個人支援）」
- 2 「団体のもつ課題解決（団体への支援）」
- 3 「多様な組織間でのネットワーク（あらゆる主体を対象）」

■ 機能

市民公益活動の促進に必要な、機能であり、役割、もしくは事業内容の柱となるもの。

■ 事業内容

機能を成り立たせるための、具体的な事業内容

今後、機能と事業内容のセットを一つずつ毎月議論していきます！

↓ その時に・・・

■ 他組織／施設で提供されている、市民活動の支援事業

市民公益活動に対しての支援や、コーディネートにおいては、上記のような組織が既に実施している内容も多くあります。考える会では、これらを“地域資源”と捉え、それぞれの組織の「強み」や「弱み」を共有しながら、「まだ支援が足りない部分はどこなのか」「既存の組織とどういった協力体制をとることが望ましいのか」などについても、随時議論をしていくために、第3回では、それぞれの組織に、現状を報告と課題提起をしてもらいました。

2 大事な検討項目を見落とさないように、忘れちゃいけない！チェック項目を考えました。

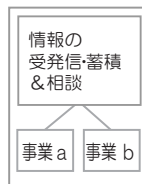
- どんな事業内容・サービスで？
- 誰が？どんな風に？
- どんな資源で？
- どういったコストがかかって、どうまかなうのか。
- ひと言でいうとどんな特徴？

只今

機能 & 事業内容☆ 検討中！

第〇回会議報告

「情報の受発信・蓄積 & 相談」について検討しました！



P.3でご報告した通り、第4回目からは、機能の1つ目として、「情報の受発信・蓄積 & 相談機能」について話合いました。集客が生命線となるイベントの周知や、「たらいまわしにされない」相談業務がほしい！といった意見が多く出されました。

情報の受発信・蓄積

1 どんな内容を伝え、蓄積することが必要？

- 受発信
 - ・ イベント情報
 - ・ 団体活動のPR・団体会員募集情報
 - ・ 資金に関する情報
 - ・ 市民活動に関するお知らせ
- 蓄積
 - ・ 市民公益活動関連の図書や貸し出し
 - ・ データベース化/人材バンク
 - ・ クリッピングサービス

<メンバーの声>

- ・ 自力で、広報をなかなか出来ないような団体をこそ支援する必要がある。
- ・ 既存のメディア媒体では、字数制限や期日など、様々な制約があるので、市民公益活動団体独自の、使い勝手のよい広報媒体をつくりたい！

2 どんな方法？

1. ニュースレター
2. ホームページ
3. メルマガ
4. 掲示板
5. レターラック
6. クリッピングサービス

3 一言で言うと？

届けたい対象に効果的な情報媒体を活用し、より多くの人々へ情報発信！



<メンバーの声>

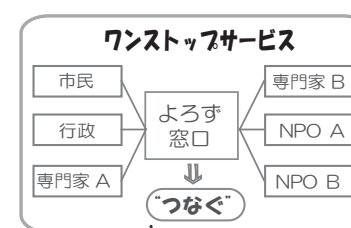
- ・ 「広報かきわ」の中に「サボセン便り」を盛り込めたら、多くの人に読んでもらえるなあ。
- ・ HPは、現在市のHP上にある、「市民活動のひろば」と連結させよう。
- ・ 4と5は、施設ができればさほどのコストがかからないので、必ず設置の方向で！

相談

1 どんな相談内容が想定できる？

- ・ 活動資金のこと（補助金・助成金情報など）
- ・ 設立・運営について（登記・会計・実務など）
- ・ 企画の立て方・運営について（事業のコーディネート
 - ・ 講座開催のノウハウなど）
- ・ 行政との協働関係相談
- ・ 地域の空き店舗や学校の利用などの地域資源の活用について
- ・ 税務や会計などの専門家の紹介
- ・ ボランティア募集について

2 どんな方法？



<メンバーの声>

- ・ せっかく行政と市民が一緒になって設置する、支援センターなのだから、行政と市民公益活動団体との協働の窓口として機能することができたらすばらしい。
- ・ 柏市の各部署には、「協働推進リーダー」が設置されているので、行政からも、何か市民の力が必要な時には、支援センターを拠点に歩み寄り、協力を募ることができるといい、双方向的な交流をしたい。



3 一言で言うと？

例えるならば、**テナントの「総合窓口」**のように、受付にいる人が、必ずしも、すべての相談内容にだけいて必要はなく、各分野の専門家や、NPO、行政などと常に連携することで、「ワンストップサービス」を実現できるようにしたい！